

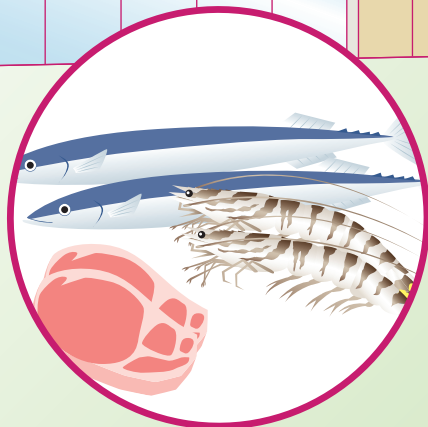
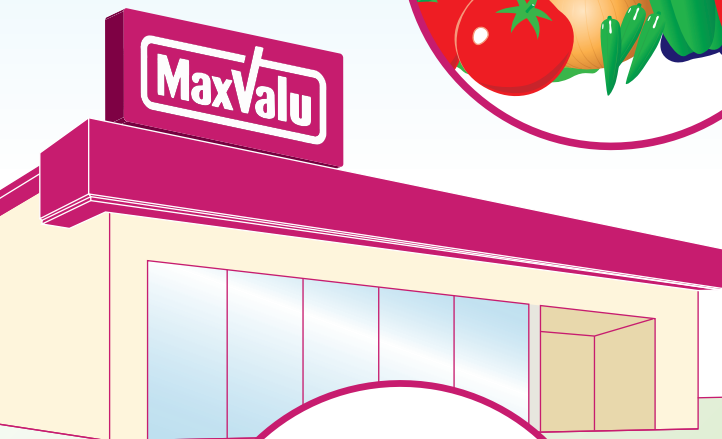
AEON



第41期 第2四半期

MV中部通信

2013年3月1日▶2013年8月31日



MaxValu

マックスバリュ中部株式会社

証券コード 8171



代表取締役社長
鈴木 芳知

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

ここに、第41期第2四半期のご報告をさせていただくにあたり、日頃のご支援に対し厚く御礼申し上げます。

当社は本年3月1日付のマックスバリュ中京株式会社との合併により新たに11店舗が加わり100店舗体制となりました。また、5月には、更なる事業拡大と今後の成長戦略を見据え、意思決定の迅速化、ガバナンスの強化に向け新しい経営体制をスタートいたしました。

新経営体制においても、お客さま、地域社会、お取引先さま、株主さま、働く仲間という5つの「社会のお役に立つ」という私たちの理念は不変です。すべての行動の中心にお客さまを据え、これからもお客さま満足の向上を目指してまいります。

これまで当社を育てていただきました皆さまへの感謝の気持ちを胸に、さらに地域の発展に貢献し、それぞれの地域に根ざした「ベストローカル企業」であり続けられるよう努力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2013年11月

当第2四半期について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年末から株価回復の兆しがみられるなど緩やかな回復基調となり、過度な円高の是正により輸出産業を中心に一部に明るさが出てきました。その一方で、可処分所得増加への歩みは遅く、円安に伴う商品の値上がりや消費税率の引き上げ等への懸念からお客さまの食料品・日用品等への節約志向は継続し、加えて業種業態を越えたシェア争奪や価格競争は更に激化し、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような環境の中、当社は2013年3月1日付のマックスバリュ中京株式会社との合併により新たに11店舗が加わり100店舗体制となり、更なる営業力強化に取り組みました。

営業面では、3月より合併記念「パワーアップセール」を実施し販促強化を図るとともに、イオンのグループ力を活かしたトップバリュ商品の更なる販売強化、お客さま感謝デーや火・水曜市への集客策の強化などに取り組みむとともに、調理時間の短縮や簡便性の高まりに応えるため、冷凍食品、デイリー等を拡充するなど、お客さまに支持される売場作りを推進しました。

成長戦略としては、2013年3月にマックスバリュ岐阜元町店(岐阜県岐阜市)、マックスバリュ上野小田店(三重県伊賀

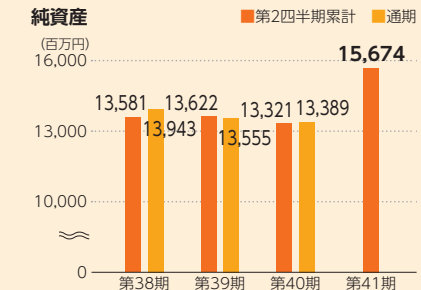
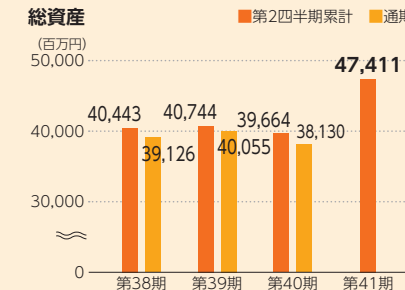
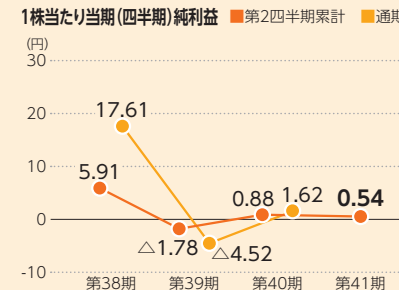
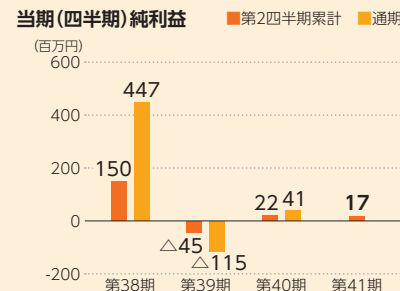
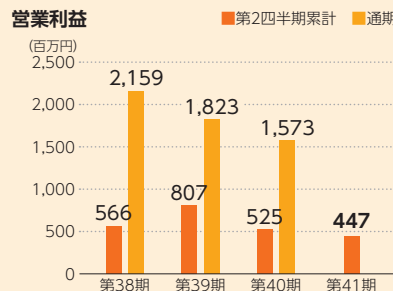
市)、7月にマックスバリュ長太の浦店(三重県鈴鹿市)の3店舗を新規出店しました。また、イオンの中国戦略を推進する「永旺(中国)投資有限公司」(イオングループ中国本社)と合併で、2013年4月28日付で中国江蘇省蘇州市に設立した子会社「永旺美思佰樂(江蘇)商業有限公司」は、中国での食品スーパーマーケットの出店に向けて準備を進めております。

一方、合併を機に、経営構造改革に着手し、システムをはじめとするイオングループ共通のインフラの活用、店舗作業手順の見直し等、業務の共通化と効率化にも取り組んできました。

しかしながら、自社ポイントカードからイオンの電子マネー「WAON(ワオン)」への切り替え時の浸透の遅れ等により、買上点数下降のトレンドが続き、既存店売上高前年比は96.7%(当初計画99.4%)にとどまりました。営業利益・経常利益につきましては、売上不振や荒利益率の低下に伴い営業総利益が悪化したことに加え、合併時のシステム変更、作業手順変更などに伴う人件費の増加や売上対策に伴う販促費の増加など販売費及び一般管理費も増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益(売上高とその他の営業収入の合計)761億29百万円、営業利益4億47百万円、経常利益4億97百万円となり、四半期純利益は減損損失5億68百万円など特別損失5億91百万円を計上したことにより17百万円となりました。

■連結業績ハイライト



新生マックスバリュ中部に、 ご期待ください!

Q₁ 当上半期の業績はいかがでしたか?

マックスバリュ中京株式会社との合併により100店舗体制となり、更なる営業力強化に取り組みました。また、経営構造改革に着手し、システムをはじめとするイオングループ共通のインフラの活用、店舗作業手順の見直し等、業務の共通化と効率化にも取り組みました。

しかしながら、自社ポイントカードからイオンの電子マネー「WAON」への切り替え時の浸透の遅れ等により買上点数下降のトレンドが続いたことや、合併時のシステム変更、作業手順変更などに伴う人件費の増加や売上対策に伴う販促費の増加などにより、当上半期の業績はご報告のとおり厳しい状況となりました。

Q₂ 通期の見通しについてはいかがですか?

通期の連結業績予想につきましては、当初発表のとおり、営業収益1,580億円、営業利益29.5億円、当期純利益12.5億円と変更はありません。この目標達成のため、お客様との日々のコミュニケーションを通して環境の変化に対応し、月初めのパワーアップセール、火・水曜市の「得意日」の強化を行うなど、お客様にとってお得で楽しいお買い物環境を実現します。

Q₃ 今後の成長戦略についてお聞かせください。

2018年2月期までの中期経営計画には、愛知県を中心に新規出店を加速して140店舗規模に拡大し、売上高を2013年2月期実績の2.3倍にあたる3,000億円とする方針を盛り込みました。

店舗数の拡大に伴い、食材の集中加工センター新設の検討や店舗規模・業態ごとの標準モデルの確立によるローコスト運営の基盤づくりを進めます。

Q₄ 株主の皆さまへのメッセージをお願いします。

2014年2月期の期末配当金は、普通配当10円にマックスバリュ中京株式会社との合併に伴う記念配当2円を加え、1株あたり12円とさせていただく予定でございます。

当社は、長期的・安定的な企業業績の向上を図ることにより、株主の皆さまに対して安定的且つ継続的な配当による利益還元と収益力強化につながる内部留保の充実を行ってまいりたいと考えております。この政策に基づき経営基盤の拡充、将来の事業展開や収益力の向上、財務体質の強化および業績を総合して配当額を決定しております。

株主の皆さまには、新生マックスバリュ中部の成長にご期待いただきますとともに、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
鈴木 芳知

マックスバリュ中京株式会社と合併!



2013年3月1日、マックスバリュ中京株式会社と合併し、愛知・岐阜・三重・滋賀の4県に展開する新生マックスバリュ中部株式会社に生まれ変わりました。

『お客さま第一』を実現し、中部エリア(愛知・岐阜・三重・滋賀)における『ベストローカル企業』を目指します。また、成長性、収益性、地域への貢献でエリアNO.1企業となります。



マックスバリュ中部株式会社



マックスバリュ中京株式会社

合併

新生マックスバリュ中部株式会社 誕生!

合併によって
見込まれる効果

1. 愛知・岐阜エリアへの出店加速
2. ブランド・サービスの統一
3. 本部機能の統合等シナジーの創出

本店所在地を移転しました



2013年5月、三重県松阪市から 愛知県名古屋市に本店所在地を移転。

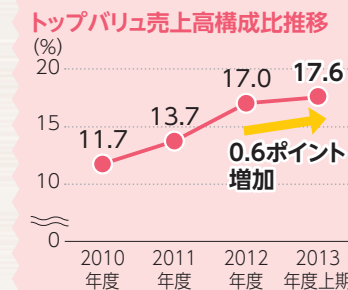
中部地区の中心である名古屋市に本部機能を移し、今後の重点出店エリアである愛知、岐阜への出店を加速します。



合併記念パワーアップセールの実施



合併記念パワーアップセールと銘打ったセールを1年間通じて実施しています。



トップバリュの拡販に取り組みました



単品売上拡大、新製品の導入、レディーミール・ヘルシーアイ商品拡大でイオンのブランド「トップバリュ」の売上高構成比目標22%を目標に取り組みでまいります。

新規出店情報



店舗名	所在地	開店年月
マックスバリュ岐阜元町店	岐阜県岐阜市	2013年3月
マックスバリュ上野小田店	三重県伊賀市	2013年3月
マックスバリュ長太の浦店	三重県鈴鹿市	2013年7月

2013年9月には、愛知県名古屋市にマックスバリュ グランド名西店をオープンしております。
マックスバリュ グランド名西店については9、10ページを御覧ください。

既存店の活性化に取り組みました

ディスカウント業態への転換、シニアシフト対応、カテゴリーの見直し、競合他社との競争に打ち勝つための活性化を図りました。

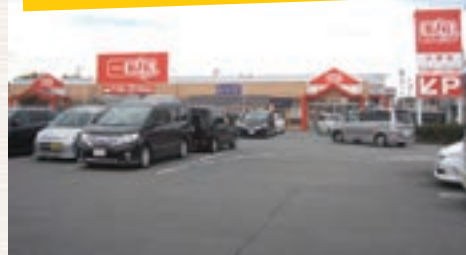
顧客ニーズや商圈特性に合った商品展開や、「即食」「素材」コーナーの明確化など24店舗で活性化を実施しました。

また、2店舗を、圧倒的な価格で競合店に打ち勝つ「ザ・ビッグ」へ業態変更しました。

冷凍食品の売場の拡大などお客さまのニーズに合った商品展開



業態変更し、圧倒的な価格で競合店に打ち勝つ



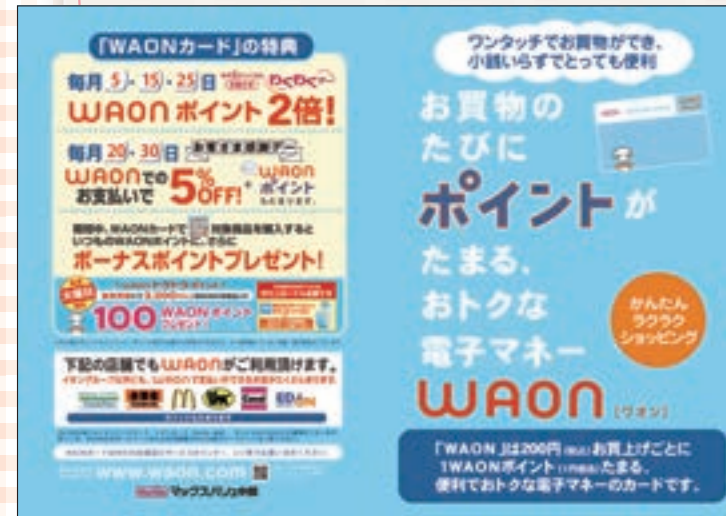
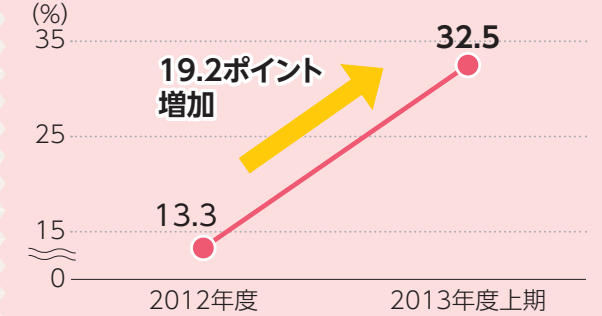
ザ・ビッグ エクスプレス小俣店



イオンの電子マネー WAONの利用促進

3月末の自社ポイントカードの終了に伴い、イオンの電子マネーWAONの利用促進キャンペーンを実施し、WAON売上構成比を拡大しました。

WAON売上構成比



WAONカード



ゆうゆうワオン
65歳以上の方が
ご利用対象。

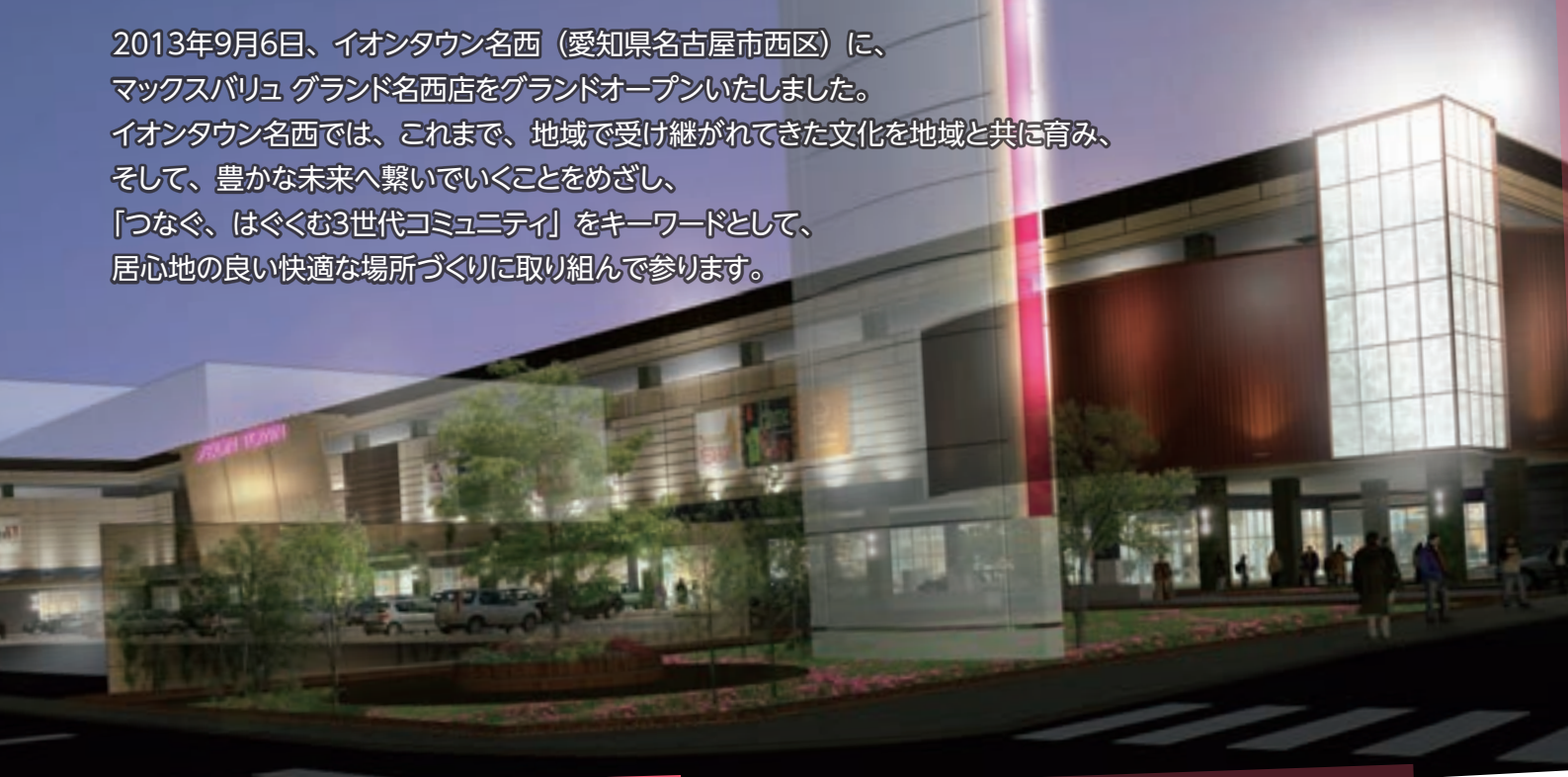


G.G. WAON
55歳以上の
お客さまがおトク!!

トピックス

マックスバリュ グランド名西店 グランドオープン!

2013年9月6日、イオンタウン名西（愛知県名古屋市西区）に、マックスバリュ グランド名西店をグランドオープンいたしました。イオンタウン名西では、これまで、地域で受け継がれてきた文化を地域と共に育み、そして、豊かな未来へ繋いでいくことをめざし、「つなぐ、はぐくむ3世代コミュニティ」をキーワードとして、居心地の良い快適な場所づくりに取り組んで参ります。



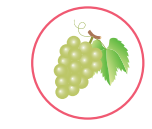
マックスバリュ グランドと75の専門店

これまでのマックスバリュよりも一層品揃えを強化した新しいタイプの大型スーパー「マックスバリュ グランド」を核店舗に、県内初出店の専門店2店舗を含む、生活に密着した美容室やグルメなどの“コト消費”に対応する業種と、地域の皆さまの生活をサポートするファッションや書籍、雑貨などの“モノ消費”に対応する業種をバランスよく取り揃えております。



マックスバリュ グランド名西店の特徴

マックスバリュ グランド名西店は、「毎日の生活に必要な商品をより豊かに楽しく提供する」をコンセプトに、豊富な品揃えで、おいしさとできたて感を提供し、売場では試食販売や料理提案などお客さまへの情報提供を積極的に行い、お客さまがお好みで適量、適品を選べ、快適で便利なお買物空間を実現します。



三河・尾張の地場野菜や愛知県内の漁港の新鮮なお魚、三河湾の生ネタ使用の寿司など、地域の食材を使用した「安全・安心」な商品をご提供します。また、お客さまの利便性向上に向け調理時間を短縮できる簡便野菜やカットフルーツなど手間なく調理できる商品を各売場で品揃えしています。



トマトコーナーでは約20種類のトマトを品揃え。シンディ、アイコ、キャロルなど約8種類の品種から選べるミディ・ミニトマトバイキングも展開しています。



惣菜量り売りコーナーのフードバーでは、中華惣菜、和惣菜、サラダ、酢の物、おこわなど約30種類の豊富な品揃えを実現しました。



高品質なこだわり商品からベーシック商品、徹底した価格訴求商品の3層構造の幅広い品揃えで、お客さまの多様なニーズにお応えする売場を展開します。

トピックス

中国戦略について

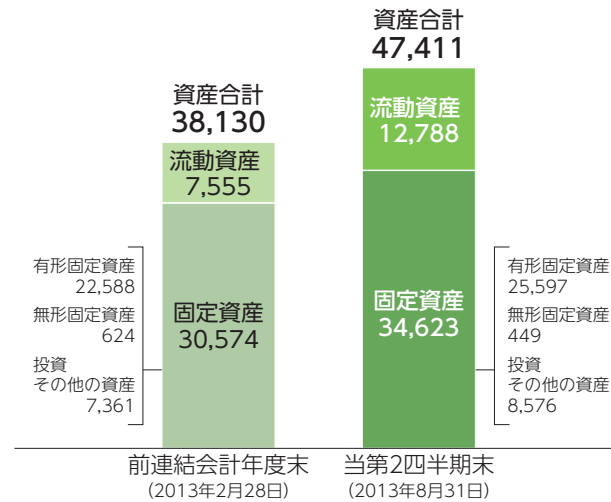
当社の成長戦略の一つとして、中国江蘇省蘇州市近郊における食品スーパー「マックスバリュ」の展開を図るため、イオンの中国戦略を推進する「永旺(中国)投資有限公司」(イオングループ中国本社)と合併で、2013年4月28日付で新会社「永旺美思佰樂(江蘇)商業有限公司」を設立し、2013年12月の1号店開店を目指し準備を進めております。



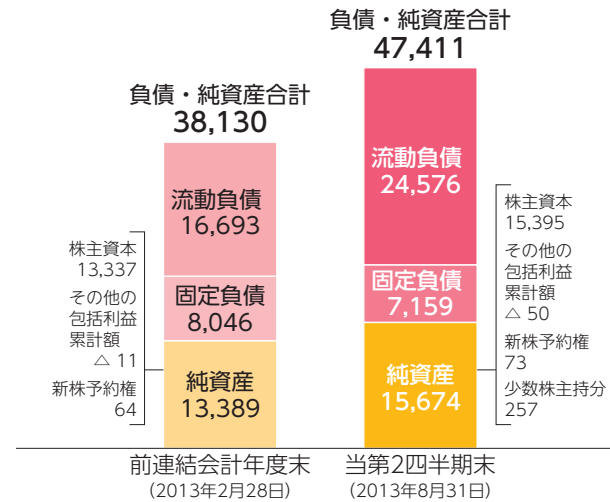
一目で分かる連結財務データの概要

●連結貸借対照表 (単位：百万円)

資産の部



負債・純資産の部



資産の部 変動要因

流動資産

流動資産の残高は、127億88百万円(前連結会計年度末比69.3%増)となりました。増減の主な内訳は、現金及び預金が21億73百万円、流動資産のその他が29億94百万円増加し、流動資産合計で52億32百万円増加しております。

固定資産

固定資産の残高は、346億23百万円(前連結会計年度末比13.2%増)となりました。増減の主な内訳は、合併等により有形固定資産が30億8百万円、投資その他の資産が12億15百万円増加しましたが、無形固定資産が1億75百万円減少し、固定資産合計で40億48百万円増加しております。

負債・純資産の部 変動要因

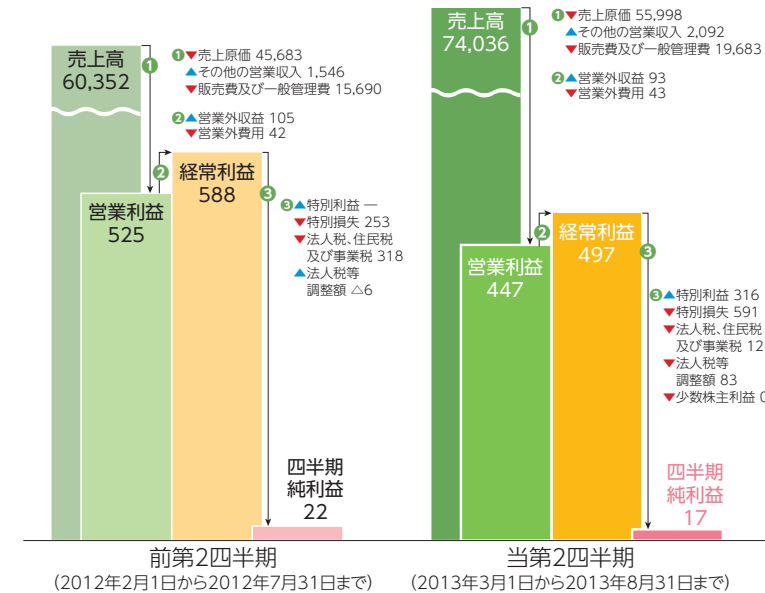
流動負債

流動負債の残高は、245億76百万円(前連結会計年度末比47.2%増)となりました。増減の主な内訳は、店舗数の増加等により買掛金が47億円、1年内返済予定の長期借入金が20億42百万円、未払金及び未払費用が10億87百万円増加し、流動負債合計で78億83百万円増加しております。

純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、156億74百万円(前連結会計年度末比17.1%増)となりました。増減の主な内訳は、四半期純利益の計上17百万円及び合併により資本金が1億円、資本剰余金が21億93百万円増加し、純資産合計で22億84百万円増加しております。

●連結損益計算書 (単位：百万円)



連結損益計算書 変動要因

売上不振や荒利益率の低下に伴い営業総利益が悪化したことに加え、合併時のシステム変更、作業手順変更などに伴う人件費の増加や売上対策に伴う販促費の増加など販売費及び一般管理費も増加しました。

連結キャッシュ・フロー計算書 変動要因

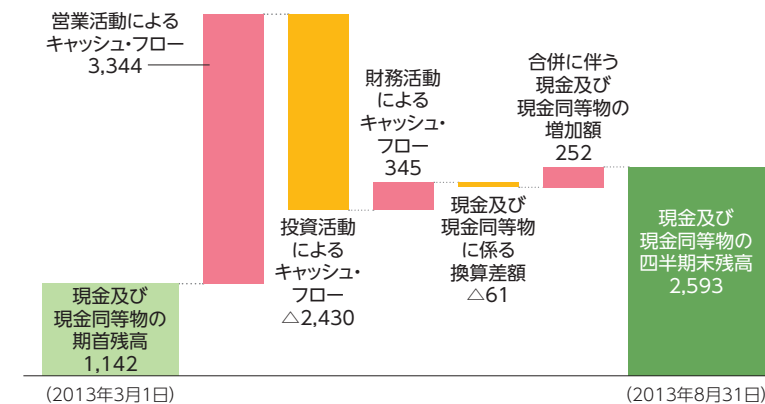
営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、得られた資金は33億44百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2億22百万円の計上、減価償却費12億60百万円、仕入債務の増加額28億33百万円及びその他流動資産の減少額14億58百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は24億30百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出13億56百万円、定期預金の預入による支出7億15百万円及び貸付金の貸付による支出5億円等によるものであります。

●連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)



会社データ・株式データ

(2013年8月31日現在)

■会社概要

社名	マックスバリュ中部株式会社 (証券コード 8171)
設立	1973年8月21日
事業内容	食料品、日用雑貨品等の小売販売
資本金	39億50百万円
本社	〒460-8605 愛知県名古屋市中区錦一丁目18番22号
店舗数	102店舗 (2013年10月31日現在)
従業員数	1,030名 (正社員)

■株式の状況

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式総数	31,734,623株 (自己株式75,111株を含む)
単元株式数	100株
総株主数	11,402名

■大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
イオン株式会社	21,140	66.77
株式会社ウメト	1,236	3.90
株式会社百五銀行	662	2.09
株式会社第三銀行	631	2.00
三菱食品株式会社	593	1.88
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	385	1.22
竹内 晶子	355	1.12
中西 久雄	320	1.01
マックスバリュ中部取引先持株会	310	0.98
マックスバリュ中部従業員持株会	272	0.86

(注) 持株比率は自己株式75,111株を控除して計算しております。

■役員

代表取締役社長	鈴木 芳知
取締役	山崎 浩史
取締役	梅本 敏
取締役	久留 幸二
取締役	廣村 敦
取締役	望月 俊二
取締役	小泉 覚
取締役	内山 一美
常勤監査役	竹越 彰
監査役	清水 良寛
監査役	井上 義信
監査役	熊谷 直義

(注) 監査役全員が社外監査役であります。

●所有者別分布状況



●所有株式数別分布状況



店舗ネットワーク

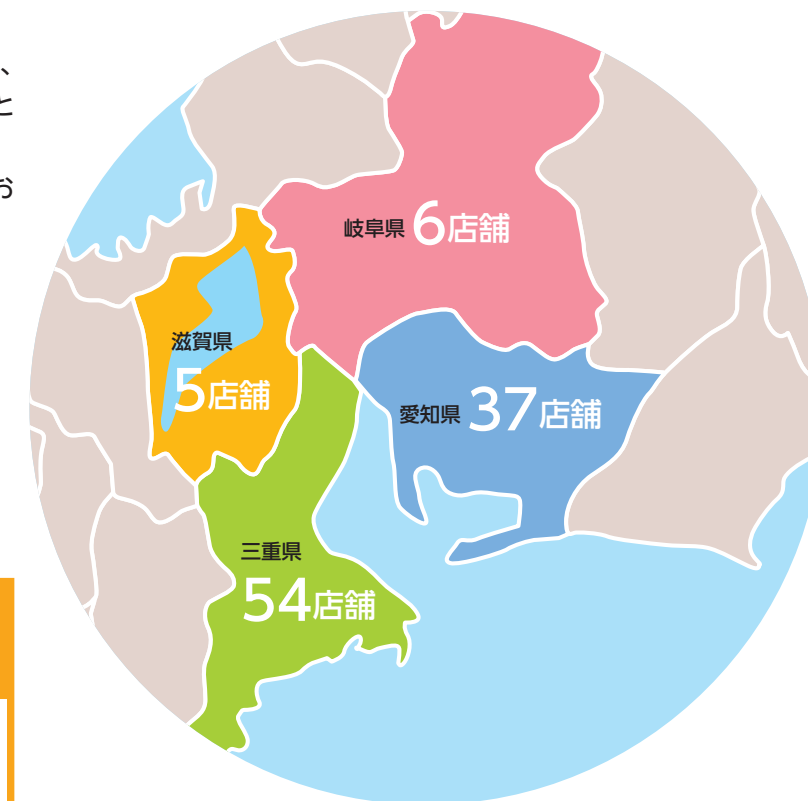
(2013年10月31日現在)

マックスバリュ中京株式会社との合併、新規出店に伴い、店舗数は102店舗となりました。
新生マックスバリュ中部は皆さまのお越しを心よりお待ちしております。



★詳しい店舗情報につきましては、
こちらをご覧ください。
<http://www.mv-chubu.co.jp/>

マックスバリュ中部のホームページでは、お得なショッピング情報から最新のニュース、IR情報などマックスバリュ中部をご理解いただくための様々な情報を提供いたしております。



新規出店情報

2013年3月
マックスバリュ岐阜元町店2013年3月
マックスバリュ上野小田店2013年7月
マックスバリュ長太の浦店2013年9月
マックスバリュ グランド名西店

●株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
基準日	毎年2月末日 そのほか必要がある場合には、 あらかじめ公告いたします。
定時株主総会	毎年5月に開催
公告方法	電子公告 ただし電子公告による公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。 (http://www.mv-chubu.co.jp/irinformation/)
上場証券取引所	名古屋証券取引所
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の 本店および全国各支店で行っております。

株主優待制度のご案内



毎年2月末日現在の、100株以上所有の株主様に、「株主様ご優待券(額面100円)」を贈呈いたします。「株主様ご優待券」は、全国のマックスバリュ、イオンなどでお買物1,000円毎に1枚ご利用いただけます。

100株以上1,000株未満	→	50枚(5,000円相当)
1,000株以上2,000株未満	→	100枚(10,000円相当)
2,000株以上5,000株未満	→	200枚(20,000円相当)
5,000株以上	→	250枚(25,000円相当)

毎年5月発行(年1回)。

「株主様ご優待券」をご利用されない場合は、ご希望により「松阪牛しぐれ煮」を送付させていただきます。4月上旬発送予定の「優待のご案内」をご確認ください。

写真は300g入りです。▶



100株以上1,000株未満	→	150g入り
1,000株以上	→	300g入り

(注) 株主優待制度は変更になる場合がございます。